

富山県感染症発生動向速報

(2025 年第 14 週分・3 月 31 日～4 月 6 日)

■今週の主な動向

○百日咳が今週 7 例（2025 年累積 49 例）報告されました。（昨年の年間報告数：2 例）

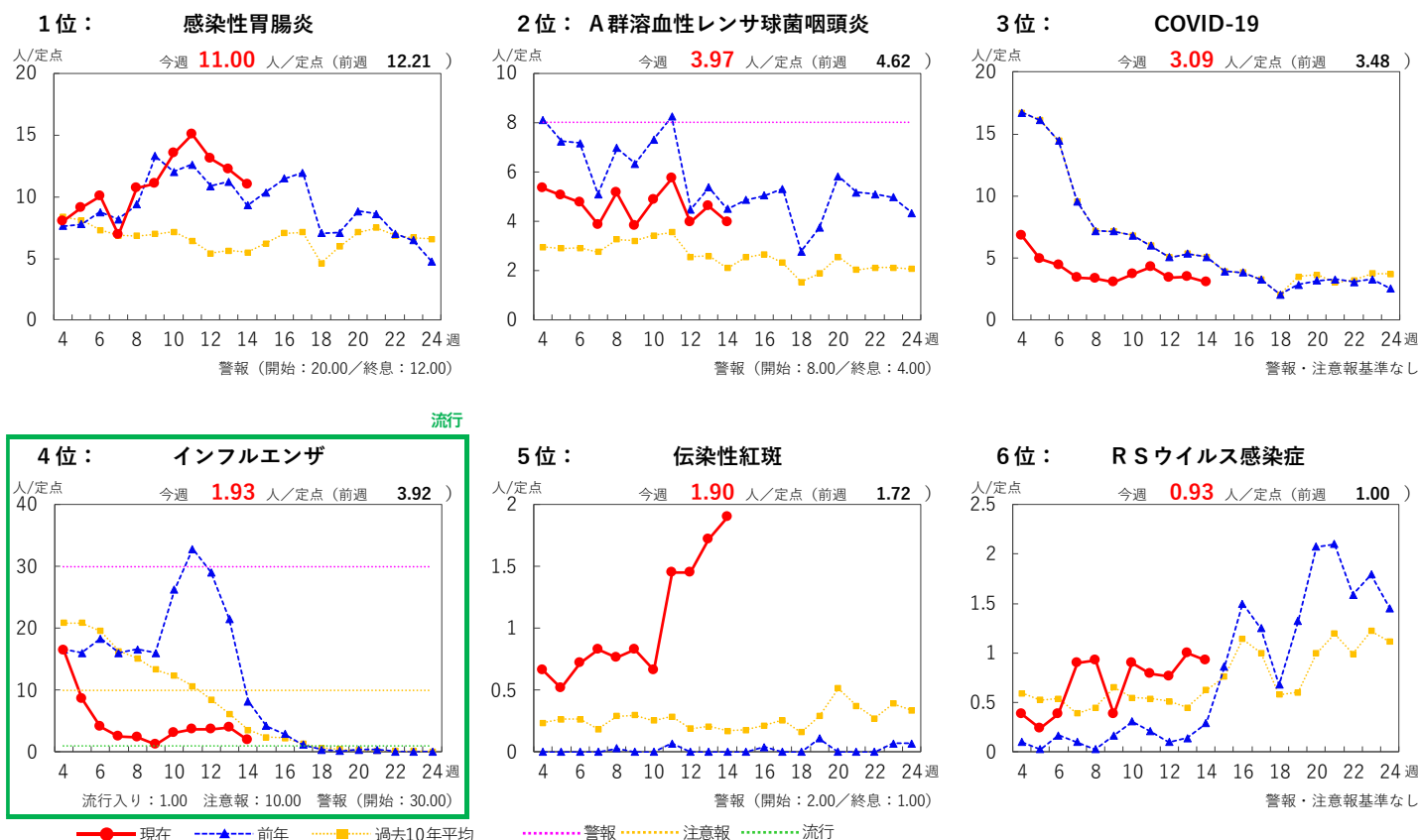
富山市保健所管内を中心に百日咳患者の報告が続いています。患者は 10～14 歳の小学校高学年～中学生に多い状況です。百日咳は、長引く咳が特徴です。咳が長引く場合は、早めに医療機関を受診しましょう（今週のインフォメーション参照）。

○伝染性紅斑の報告数が増えています。

富山県内の患者報告数は、第 11 週に急増し、以降も増加が続いています。妊婦が感染すると流産等の原因になることがあるので、注意が必要です（[第 7 週インフォメーション参照](#)）。

■定点報告の感染症

今週の富山県内上位 6 疾患（第 14 週・3/31～4/6）



■全数報告の感染症

二類感染症 結核 4 件（①第 13 週診断分：70 歳代、男性 ②50 歳代、男性 ③70 歳代、男性 ④80 歳代、男性）

四類感染症 レジオネラ症 1 件（80 歳代、男性、肺炎型）

五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1 件（90 歳代、男性）

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 1 件（70 歳代、女性、G 群）

侵襲性肺炎球菌感染症 1 件（80 歳代、女性）

梅毒 1 件（第 12 週診断分：60 歳代、男性、無症候）

百日咳 7 件（①10 歳未満、男性 ②～④すべて 10 歳未満、女性 ⑤10 歳代、男性 ⑥⑦共に 10 歳代、女性）

風しん 1 件（10 歳未満、男性）





2 週間以上続く咳 百日咳かも！

《 インフォメーション 》

●百日咳

百日咳は特有のけいれん性の咳発作を特徴とする急性気道感染症で、百日咳菌を原因菌とし患者の咳などに含まれる菌を吸い込むことにより感染します。感染力が非常に強く、学校保健安全法では第2種感染症に定められています。2018年に病原体の遺伝子検査が利用可能となったことから、百日咳はそれまでの五類小児科定点把握疾患から、五類全数把握疾患に変更されました。

百日咳患者は、全国では2018年に12,115人、2019年に16,845人が報告され、COVID-19パンデミック以降、大幅に減少しました。しかし、2024年には4,093人に増加し、2025年には第13週時点で既に2024年の報告数を超えました（図1. 折れ線グラフ）。富山県内では2019年に地域流行で253人が報告されましたが

（[IASR 41: 125-127, 2020](#)）、その後、2020年以降減少し、2024年まで0～26人／年で推移しました（図1. 棒グラフ）。しかし、2025年は第5週以降報告が続き、第14週時点で49人となり、今後の動向を注視していく必要があります（図2）。

百日咳の予防には、ワクチンの接種が有効です。百日咳ワクチンは、乳幼児期の定期接種で計4回接種しますが、ワクチンの効果は4～12年で減弱するとされています。富山県で2025年第14週までに報告された患者数は5～9歳が8人、10～14歳が41人でした。また、ほとんどの症例は4回の接種を完了した後に発症したブレークスルー感染でした。日本小児科学会は、就学前に三種混合（DPT）ワクチンの追加接種（任意接種）を推奨しています。また、11～12歳では二種混合ワクチンに代えてDPTワクチンの接種（任意接種）も推奨しています（[小学校入学前に接種すべきワクチン](#)）。

百日咳の感染拡大を防止するには、早期の診断、治療が重要です。咳が続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。また、マスクを着用するなど、「咳エチケット」を守りましょう。

図1.百日咳患者報告数

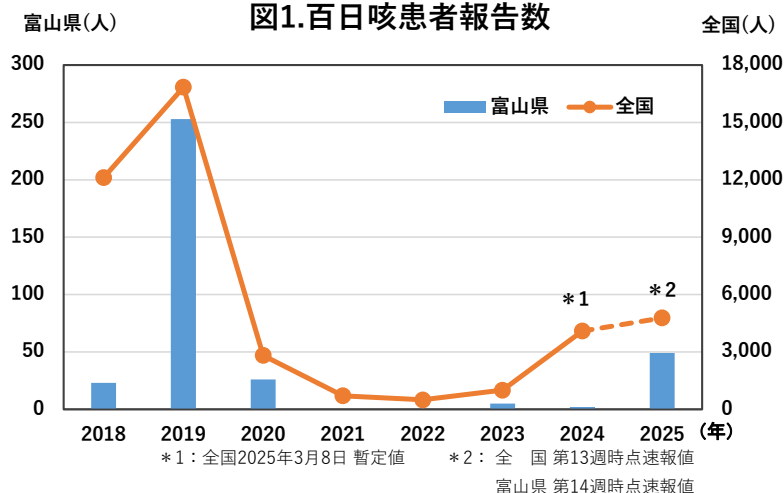
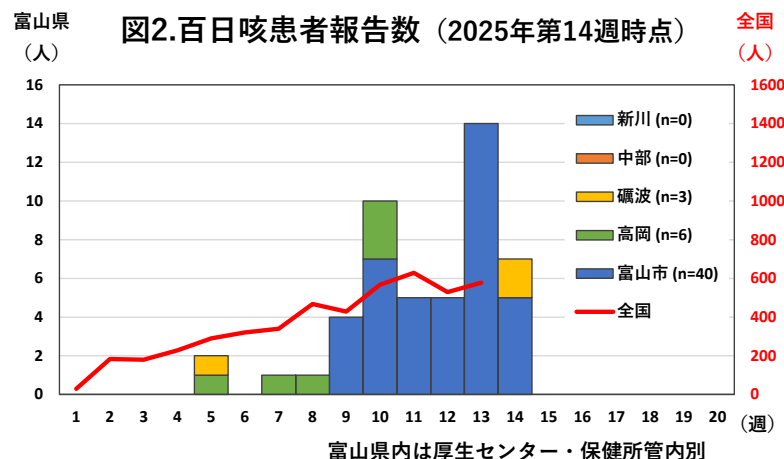


図2.百日咳患者報告数（2025年第14週時点）



○感染症発生動向調査報告状況（2025年第14週 2025年3月31日～2025年4月6日）

分類		疾患	今週報告分（第14週）						累積報告数（2025年第1週（2024年12月30日）～）					
			新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
全数把握	二類感染症	結核			1		2	3	2		6	4	17	29
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く			1		2	3	1		3	4	10	18
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症									1			1
	四類感染症	E型肝炎									2			2
		A型肝炎									1			1
		レジオネラ症					1	1			1		1	2
	五類感染症	アメルバ赤痢											1	1
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1			3		5	8
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症					1	1			1		4	5
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）											1	1
		侵襲性インフルエンザ菌感染症							1		1	2	2	6
		侵襲性肺炎球菌感染症					1	1	4		2	3	8	17
		梅毒							1		2		7	10
		百日咳				2	5	7			6	3	40	49
		風しん				1		1				1		1
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（46定点）	インフルエンザ	21	23	11	5	29	89	855	681	1,618	938	1,737	5,829
			3.00	4.60	0.92	0.71	1.93	1.93						
		COVID-19	49	12	23	28	30	142	678	290	795	500	658	2,921
			7.00	2.40	1.92	4.00	2.00	3.09						
	小児科定点（29定点）	RSウイルス感染症	1	3	6		17	27	15	15	76	32	96	234
			0.25	1.00	0.75		1.70	0.93						
		咽頭結膜熱	2	2	5	1	4	14	42	11	116	2	27	198
			0.50	0.67	0.63	0.25	0.40	0.48						
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5	8	40	6	56	115	54	109	634	67	863	1,727
			1.25	2.67	5.00	1.50	5.60	3.97						
		感染性胃腸炎	18	33	74	16	178	319	420	354	748	277	2,091	3,890
			4.50	11.00	9.25	4.00	17.80	11.00						
		水痘		1			15	16	2	8	17	4	65	96
				0.33			1.50	0.55						
		手足口病			2			2		1	9	1	1	12
					0.25			0.07						
		伝染性紅斑	5	4	22		24	55	11	37	144	2	160	354
			1.25	1.33	2.75		2.40	1.90						
		突発性発しん			3	1	2	6	2	4	23	9	28	66
					0.38	0.25	0.20	0.21						
		ヘルパンギーナ	1				1	2	15				1	16
			0.25				0.10	0.07						
		流行性耳下腺炎					1	1		3	1	1	6	11
							0.10	0.03						
	眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎				4		4			4	38		42
						4.00		0.57						
		流行性角結膜炎							1		12	1		14
	基幹定点（5定点）	細菌性髄膜炎										1		1
		マイコプラズマ肺炎	1			1		2	12	3	14	14	2	45
			1.00			1.00		0.40						
		感染性胃腸炎（ロタウイルス）									2			2
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）					2	2	55	20	45	67	49	236
		COVID-19による入院患者	5	1		2	4	12	66	68	43	99	150	426

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、2024年第36週（9月2日）～の集計です。

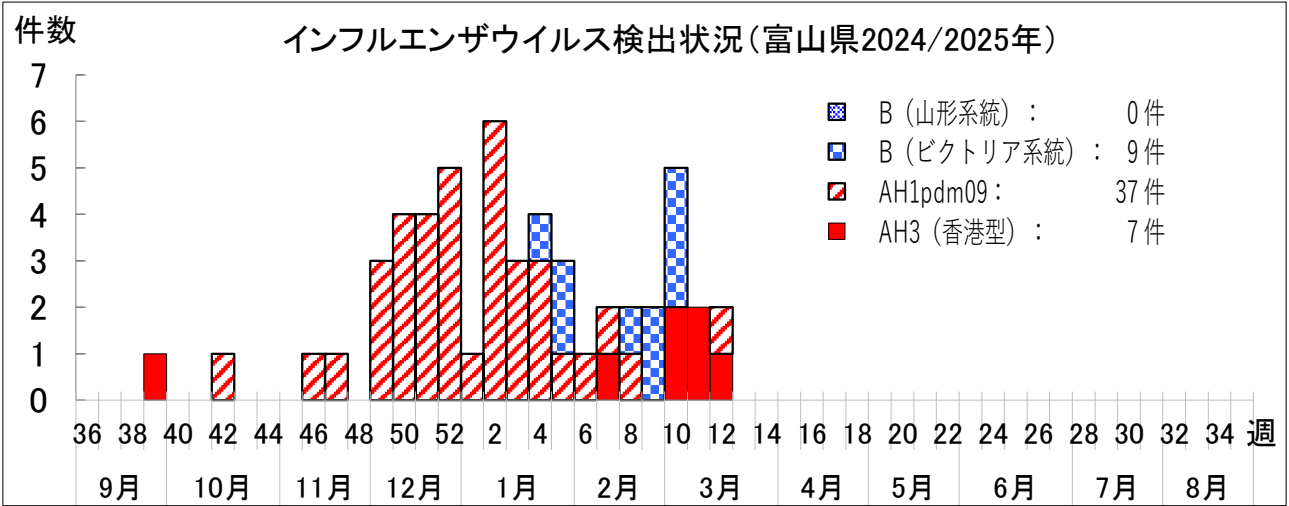
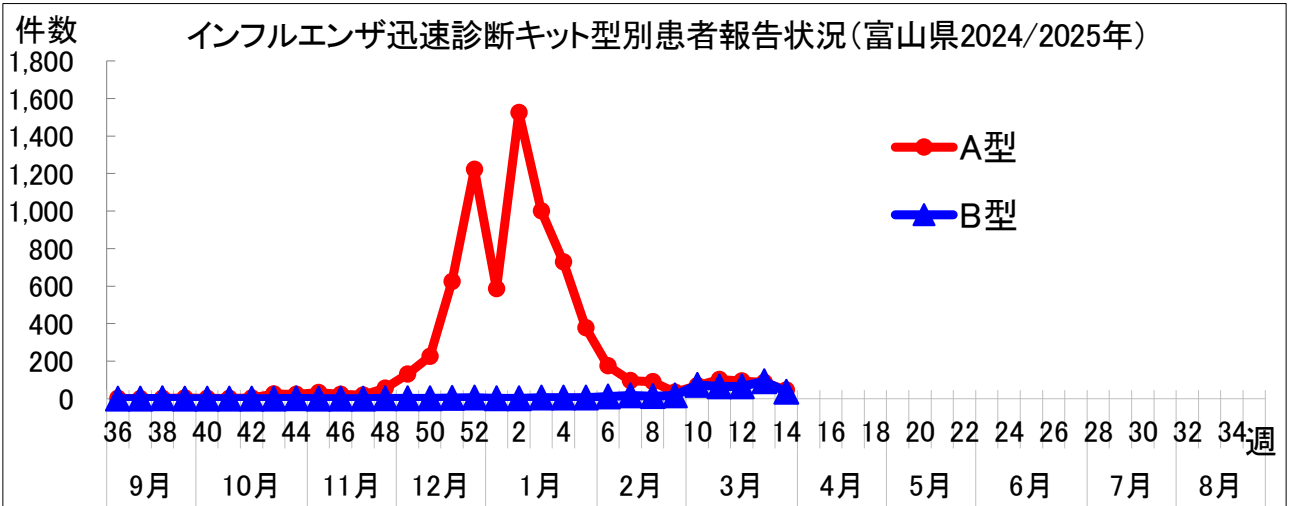
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
現在、下の表によると、A型が52.8%、B型が40.4%となっています。

第14週(3/31~4/6)：富山県 1.93人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・ 保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	4 / 7	4	17	0	21
中部	5 / 5	14	5	4	23
高岡	7 / 12	6	4	1	11
砺波	4 / 7	2	3	0	5
富山市	9 / 15	21	7	1	29
富山県	29 / 46 ^{※1}	47	36	6	89
富山県累計(2024年36週~)		7,409	427	507	8,343

※1 46の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が29か所あったことを示します。
※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



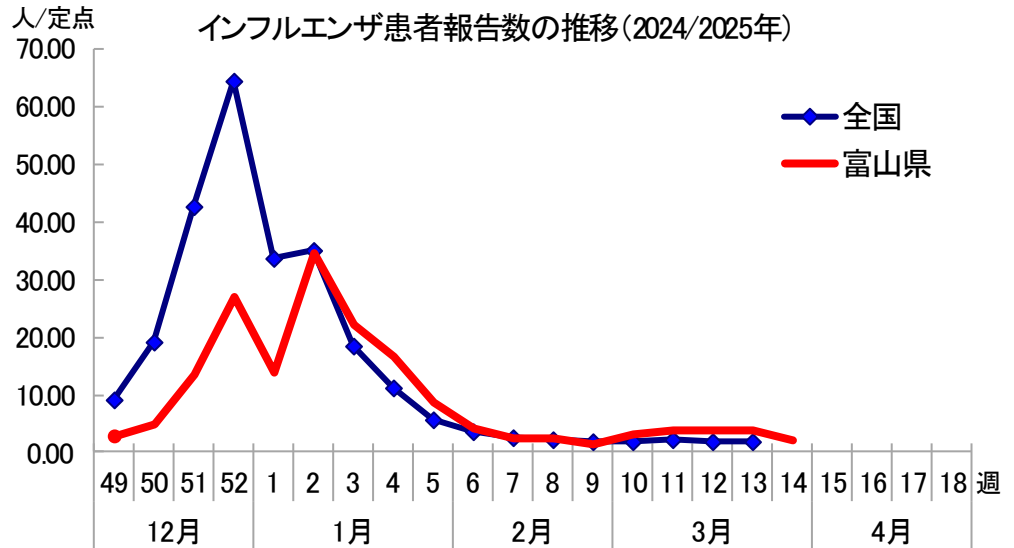


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第14週（3/31～4/6）：富山県 1.93 人/定点

新川 HC（3.00）、中部 HC（4.60）、高岡 HC（0.92）、砺波 HC（0.71）、富山市 HC（1.93）

県内の患者報告数は、第14週に1.93人/定点となり、前週（3.92）より減少しました。

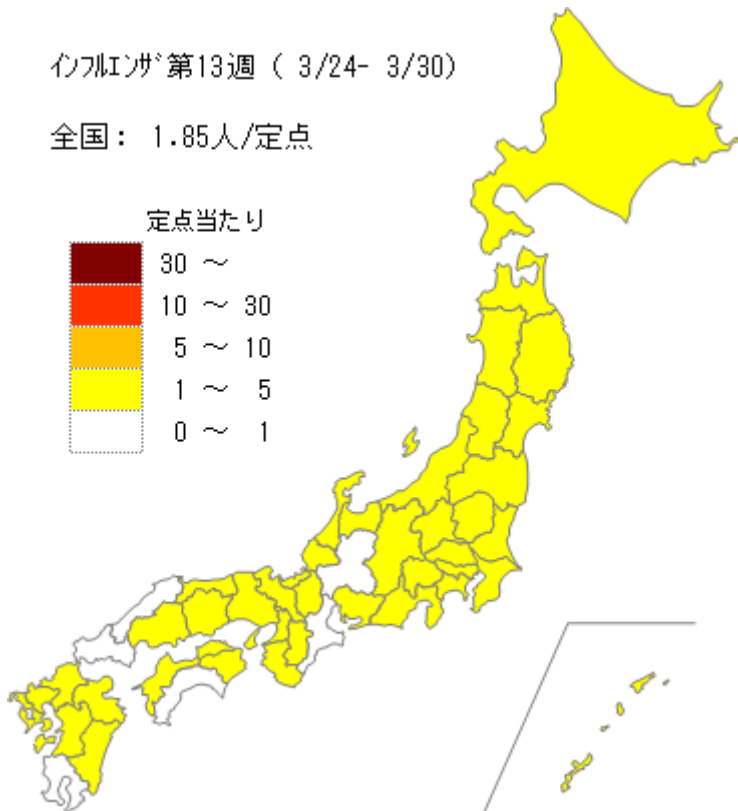


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第13週（3/24～3/30）

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 1.85 人となり、前週の 1.98 人より減少しました。20 県で前週より増加しています。27 都道府県で前週より減少しています。

インフル第13週（3/24～3/30）

全国：1.85人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	1.91 ↓	滋賀県	2.07 ↑
青森県	1.67 ↓	京都府	1.24 ↓
岩手県	3.39 ↑	大阪府	1.91 ↓
宮城県	1.97 ↑	兵庫県	2.07 ↑
秋田県	3.46 ↑	奈良県	1.62 ↑
山形県	1.73 ↓	和歌山県	2.52 ↓
福島県	3.07 ↓	鳥取県	1.34 ↑
茨城県	1.31 ↓	島根県	0.61 ↓
栃木県	3.09 ↓	岡山県	1.88 ↓
群馬県	2.45 ↑	広島県	1.00 ↓
埼玉県	1.83 ↓	山口県	0.42 ↓
千葉県	2.01 ↓	徳島県	1.11 ↑
東京都	1.91 ↓	香川県	2.40 ↑
神奈川県	1.74 ↓	愛媛県	1.66 ↑
新潟県	3.43 ↓	高知県	0.41 ↓
富山県	3.92 ↑	福岡県	1.49 ↓
石川県	2.02 ↑	佐賀県	1.41 ↑
福井県	1.79 ↓	長崎県	1.38 ↓
山梨県	1.80 ↑	熊本県	1.39 ↑
長野県	4.00 ↓	大分県	1.41 ↑
岐阜県	0.84 ↑	宮崎県	1.19 ↑
静岡県	1.42 ↓	鹿児島県	0.98 ↑
愛知県	1.38 ↓	沖縄県	3.84 ↓
三重県	0.78 ↓	全国	1.85 ↓